

テレビ新広島文化大学講演

農業・環境シリーズ第14話 2009年6月9日

「里山の散策で感性を磨く」

西村清巳

新緑が 新緑を染め 人を染め 星野 椿

と詠われている情景がぴたり当てはまる、七塚原高原の初夏の花40を紹介。

里山は、健康づくり・体力づくりのためだけに歩いたらもったいない。発見の喜び、出会いの喜びを求めて、好奇心いっぱいの里山歩きをおすすめしたい。植物たちの姿と主張、昆虫や小鳥たちの主張を聞きながら、里山を構成する生き物たちの働きを知り、人との共生の道を探る。

森の中での視力は、植物や生きものたちへの好奇心の強さで決まる。興味・関心の高まりに比例してよく見えるようになる。

レーチェル・カーソンは「子どもたちが身につけた豊かな感性は、知力を育む肥沃な土壤である」といっているが、私たち大人に求められている感性は、感性の枯れかけている今の子どもたちを自然の中に導く牽引車である。